1. 小学校の英語教育導入(1)

賛成意見のサンプル

Introduction 主張: 替成

□1. 英語は小学校から必修科目にするべきだと思う。

Body 理由 ① (抽象→具体) 『切り口』医学: 脳の柔軟性

□2. 子供は大人よりも柔軟性がある。調査によれば、幼いうちから言語を学習し始めた方が、堪能になる可能性も高いようである。

Body 理由 ② (抽象→具体) 『切り口』人間: 思春期以前の性質

☑3. 子供はとまどうことなく新しいことを挑戦する。思春期を越えてから英語を学び始めると、'f', 'v,' 'th'などの日本語にない発音をするのが恥ずかしくなる。

Bodv 理由 ③ (原因→結果) 『切り口』社会: 国際化の波

□4. 国際化の波は避けられない。これからは、日本人も英会話ぐらいできなくてはならない。

Body 理由 ④ (原因→結果) 『切り口』教育: 異文化を知る

☑5. 英語学習によって子供たちは他の文化について知る機会が持て、国際的なものの考え方ができるようになるはずだ。

Conclusion 一般化 (ワンランク上の視点): 鎖国打破

☑6. 英語は世界の主たるコミュニケーションの道具であり、日本はもはや孤立した島国であってはならないのだ。

表現研究

1. a compulsory subject 「必修科目」 2. studies show that \sim 「調査によると \sim 」 (p.144) the earlier \sim , the more likely...はthe 比較級 \sim , the 比較級...の構文 \Leftrightarrow likely の位置に注意(『文 法矯正編』 §100):be likely to $do \sim$ 「 \sim する可能性が高い」 3. not hesitate to $do \sim$ 「遠慮な $<\sim$ する」 (p.79) puberty 「思春期」 「恥ずかしい」の訳はembarrassed だと「穴があったら入りたい」という感じ (cf. embarrassing (p.190)) で、ashamed だと 「世間に顔向けでき

問

小学校から英語教育を始めることについて、賛成か反対か。

- ☑1. I think that English should be made a compulsory subject at elementary school.
- ☑ 2. Children are more flexible than grownups. Studies show that the
 earlier people start learning a language, the more likely they are to be
 good at it.
- □ 3. Small children don't hesitate to try a new thing. When children start studying English after they reach puberty, they are embarrassed to pronounce the sounds which the Japanese language doesn't have, such as 'f,' 'v,' and 'th.'
- ☑ 4. The wave of globalization is unavoidable. From now on, Japanese people must be able to hold a conversation in English.
- ☑ 6. English is the world's main tool of communication, and Japan should not be an isolated island nation any longer.

ない」の意味 4.「英会話」はふつう English conversation とは言わない。hold a conversation in Englishで「英語で会話をこなす」の意味。 5. find out about ~「(情報・学習で)~について知る」 from a ~ point of view「~という観点から」 6. an island nation「島国」☞ 島国は日本以外にも存在するので冠詞はan(『文法矯正編』§53) isolated「孤立した、隔離された」